

# ウエルハーネスだより



195号

## 理事長からの言葉

仙台育英高校の優勝で甲子園も幕を閉じ、朝夕がしのぎやすくなってきました。そろそろ夏の終わりが近づいたかなと思う今日この頃です。新型コロナウイルスの施設内感染では皆様にご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。今後も施設内での感染を防ぐべく、最大限の努力をしていきます。

さて、今月は読売新聞に載っていた『会話を通じて AI が認知症診断、精度は9割…慶応大などのチームが開発』という記事をご紹介します。

認知症の疑いがあるかについて、人工知能（AI）が医師らとの会話内容や言葉遣いから判定するシステムを、慶応大などのチームが開発したと発表した。約9割の精度で判別できるといい、医療機器として国から承認を得て、2023年にも実用化したい考えだ。認知症の早期発見に役立つと期待される。論文が科学誌に掲載された。

岸本泰士郎・慶大特任教授（精神科）や情報解析企業フロンテオ（東京都）のチームは16～19年、全国の医療機関10施設で、認知症の人を含む高齢者と医師らが交した会話を録音。135人計432回分を文字化し、専門医による認知症の診断結果と合わせて、AIに学習させた。

開発したシステムで、新しい会話データも使って判定した結果、認知症の人の88%、認知症でない人の92%を正しく見分けられた。3～5分程度の会話でこの精度を実現できたという。（1）同じ話を繰り返す（2）言葉と言葉をつなぐ助詞が抜ける（3）時間や場所が曖昧になるなどの特徴から、検知しているとみられる。

認知症は本人への問診のほか、計算力や記憶力を調べる検査などで診断する。検査は専門性が高く、医師は訓練を受ける必要がある。開発したシステムは簡単に使えるため、スクリーニング（ふるい分け）検査などで活用できるという。

認知症に詳しい岩田淳・東京都健康長寿医療センター脳神経内科部長は「実用

上尾市向山1-14-7  
社会福祉法人 竹柿会  
TEL：048-782-0575  
FAX：048-782-0590  
令和4年8月25日発行

化されれば、多くの開業医が高齢者に認知症の可能性があるかを幅広く調べることも可能になる。誤判定にも留意し、開業医が専門医に患者を紹介する仕組みも必要になるだろう」と話す。

早期診断の精度が上がること自体はとても良いことだと思うのですが、問題は開業医のすべてが「認知症の人」を理解しているわけではないという点です。正直言って、この程度の判定基準なら経験ある介護職員ならだれでもできるのではと思います。介護認定では認定調査員の調査表と主治医意見書が両輪となっています。私も長く介護認定審査委員を勤めましたが、主治医意見書の中にはえっと思うものが結構ありました。そんな時、医師として参加している認定審査委員の先生から、こんなのは無視していい、医師会にもっと勉強するように言っておくという発言がありました。開業医の先生なら、ぜひ認知症の人への理解を深めていただきたいと思います。

## 7～8月の行事

8/3・4は、夏祭りの献立。8/7は、たいめいけん特製ハヤシライス。8/23は、ハーフ&ハーフ（ミニ豚丼・ミニ冷やしたぬき蕎麦・他）を召し上がりました。

**特養では**、ユニット毎にケーキを召し上がったり、誕生日プレゼントをお渡ししてお祝いしました。また、夏の風物詩を感じて頂ける様にスイカ割りを行ったユニットもありました。



**デイでは**、8/3・4のサマーパーティーにビンゴゲームや射的、ヨーヨー釣りを行いました。また、かき氷作りや手作りの色ボールを投げ入れて、競い合う花火ゲームを行ったり、行灯作りもしました。

## 8～9月の予定

9/9（金）は、旬の食材として栗ご飯。9/10（土）は、おやつにみたらし団子。9/19（月）は、敬老の日にあたり祝い膳（お赤飯・すまし汁・鰻の蒲焼き・天ぷら・炊き合わせ・梨）を召し上がって頂きます。

**特養では**、ユニット毎に誕生日会やお茶会を考えています。また、かき氷レクを計画しているユニットもあります。

**デイでは**、脱線ゲームや花落としげゲームを行う予定です。また、スタンドグラス風お月見の制作や敬老会を考えています。





デイ サマーパーティー



射的&ヨーヨー釣り



デイ 行灯作り



デイ かき氷作り



デイ 花火ゲーム



特養 誕生日会



特養 スイカ割り

